

自然とふれあい 自ら体験する楽しさ!



カヌー教室

くにの松原

今年のゴールデンウィークは好天に恵まれ、観光景勝地となる『くにの松原』には、県内外から多くの家族連れが訪れました。

くにの松原周辺では、キャンプ場を利用して家族で過ごしたり、松林内では森林浴をしたり、そして、海岸では潮干狩りを楽しんだり、それぞれの目的で休日を過ごしていました。

また、毎年恒例になった『カヌー教室inくにの松原』も行われ、キャンプ場の宿泊者やリピーターの方などが参加しました。カヌー教室では、カヌーの基本から簡単な応用までを楽しく習得することができ、また、ライフジャケットを着用し、プール内で行うため、初めての方でも安全で、特におすすめな体験型観光のひとつです。参加者らはインストラクターからパドルの扱い方や注意事項などの指導を受けた後、カヌーに乗り込みましたが、はじめは思うように進まず、フラフラしていた子どもたちも次第にコツをつかみ、水上散歩をしながら歓声や笑い声がプール内にあふれていました。プールサイドでは、ライフジャケットを着けた姿やカヌーを体験している様子、水鉄砲遊びで笑顔を見せる子どもたちを撮影しようとする家族連れなどで大変にぎわいました。



ミニライブの様子 (松韻祭)



にぎわうキャンプ場内



5月3日(土)〜4日(日)の2日間にかけて、『松韻祭』が開催され、ミニライブや屋台などが並びにぎわいをみせていました。

※キャンプ場の受付業務を2階事務所で行っていましたが、車いすおよび高齢者など、利用者の利便性を考慮し試験的に管理棟1階駐車場側に移設しました。



セグウェイガイドツアー

